



2022年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2022年1月31日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社丸和運輸機関
 コード番号 9090 URL <https://www.momotaro.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 和佐見 勝
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員 (氏名) 河田 和美 TEL 048(991)1000
 四半期報告書提出予定日 2022年2月10日 配当支払開始予定日 -
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2022年3月期第3四半期の連結業績（2021年4月1日～2021年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する 四半期純利益 | |
|---------------|--------|------|-------|------|-------|------|----------------------|------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 2022年3月期第3四半期 | 97,107 | 15.8 | 6,778 | △2.4 | 7,120 | 0.5 | 5,095 | 4.3 |
| 2021年3月期第3四半期 | 83,884 | 14.4 | 6,942 | 20.8 | 7,085 | 19.7 | 4,883 | 19.9 |

(注) 包括利益2022年3月期第3四半期 4,704百万円 (△11.9%) 2021年3月期第3四半期 5,339百万円 (14.8%)

| | 1株当たり 四半期純利益 | 潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益 |
|---------------|-----------------|----------------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 2022年3月期第3四半期 | 40.53 | 37.34 |
| 2021年3月期第3四半期 | 38.33 | 38.00 |

(注) 1. 前連結会計年度末において、企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、2021年3月期第3四半期に係る各数値については、暫定的な会計処理の確定の内容を反映させております。

2. 当社は、2021年1月1日付で普通株式1株につき2株の割合をもって株式分割を行っております。これに伴い、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり四半期純利益及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 |
|---------------|--------|--------|--------|
| | 百万円 | 百万円 | % |
| 2022年3月期第3四半期 | 79,531 | 28,023 | 35.2 |
| 2021年3月期 | 73,191 | 25,708 | 35.1 |

(参考) 自己資本 2022年3月期第3四半期 28,023百万円 2021年3月期 25,708百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|--------------|--------|--------|--------|------|-------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 2021年3月期 | - | 18.95 | - | 9.48 | - |
| 2022年3月期 | - | 9.50 | - | - | - |
| 2022年3月期（予想） | - | - | - | 9.50 | 19.00 |

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2. 当社は、2021年1月1日付で普通株式1株につき2株の割合をもって株式分割を行っております。2021年3月期第2四半期末につきましては、当該株式分割前の実際の配当金の額を記載しております。また、2021年3月期期末、2022年3月期第2四半期末及び期末予想につきましては、当該株式分割を考慮した配当金の額を記載しております。

3. 2022年3月期の連結業績予想（2021年4月1日～2022年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属 する当期純利益 | | 1株当たり 当期純利益 |
|----|---------|------|-------|------|-------|------|---------------------|------|----------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 129,500 | 15.5 | 8,890 | 10.9 | 9,385 | 13.6 | 6,250 | 12.9 | 49.71 |

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料P. 8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

| | | | | |
|---------------------|------------|--------------|------------|--------------|
| ① 期末発行済株式数(自己株式を含む) | 2022年3月期3Q | 128,843,520株 | 2021年3月期 | 128,797,120株 |
| ② 期末自己株式数 | 2022年3月期3Q | 3,106,805株 | 2021年3月期 | 3,108,388株 |
| ③ 期中平均株式数(四半期累計) | 2022年3月期3Q | 125,714,206株 | 2021年3月期3Q | 127,398,456株 |

- (注) 1. 当社は、2021年1月1日付で普通株式1株につき2株の割合をもって株式分割を行っております。これに伴い、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、発行済株式数を算定しております。
2. 期末自己株式数及び期中平均株式数の算定上控除する自己株式数には、役員向け株式給付信託及び株式給付型ESOPの信託財産として保有する当社株式358,292株を含めております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。
- ・当社の四半期連結財務諸表に表示される科目その他の事項の金額は、従来、千円単位で記載しておりましたが、第1四半期連結会計期間及び第1四半期連結累計期間より百万円単位で記載することに変更いたしました。なお、比較を容易にするために、前第3四半期連結累計期間及び前連結会計年度についても、千円単位から百万円単位に変更しております。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------------|---|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 | 3 |
| (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 3 |
| 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 | 4 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 4 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | 6 |
| (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 | 8 |
| (会計方針の変更) | 8 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 8 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 8 |
| (四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) | 8 |
| (セグメント情報等) | 9 |
| (重要な後発事象) | 9 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の拡大による断続的な緊急事態宣言の発出・延長に伴い、社会・経済活動が制限されたことで厳しい状況が続きました。10月の緊急事態宣言解除以後、持ち直しの動きが見られたものの足元では新たな変異株による感染再拡大が懸念され、先行きは未だ不透明な状況となっております。

物流業界におきましても、消費関連貨物を中心に輸送量は回復傾向にあるものの、人手不足や原油価格の高騰等に伴うコストの上昇の影響を受けました。消費行動の変化により巣ごもり需要・内食需要などは堅調である一方、生活必需品以外の需要の縮小や海外からの移動制限による販売機会の喪失は未だ回復には至らず、依然として厳しい経営環境が続いております。

このような環境のもと当社グループは、「3PL&プラットフォームカンパニー」をコンセプトに掲げた中期経営計画に基づき、「人材の確保及び育成」「先端技術の研究・活用」「新たな市場開発」に取り組んでまいりました。また、それぞれの施策に継続的に取り組むと共に、EC物流事業、低温食品物流事業及びBCP物流事業を感染症終息後の先を見据えた社会インフラとなるコア事業と定め、より一層推進することといたしました。

EC物流事業では、成長市場における独自のラストワンマイル配送網「MQA (Momotaro・Quick Ace)」の構築に加え、当社が強みとする3PL事業へと領域を拡大し、幹線輸送及びセンター運営を推進しております。低温食品物流事業では、食品スーパーマーケットに合わせたサービスマニュー「AZ-COM7PL」(アズコム セブン・パフォーマンス・ロジスティクス/7つの経営支援機能を付加した3PL)による高品質・高付加価値の物流提案に取り組んでおります。特に「産直(産地直送バリューチェーン)」による生鮮製品の鮮度向上とスーパーマーケットの商流利益創出に傾注しております。また、非常時においても安全・安心・安定した物流を提供するBCP物流事業の機能を強化し、「AZ-COM丸和・支援ネットワーク」によるパートナー企業との相互扶助に基づく連携により、物流事業を通じたライフライン確保に貢献しております。加えて、新型コロナウイルス感染症の終息以後も見据えた環境変化に適応すべく、DX(デジタル・トランスフォーメーション)の研究と導入、国連が掲げる「SDGs(持続可能な開発目標)」達成に向けた取り組みにも着手しております。

以上の結果、当社グループの当第3四半期連結累計期間における経営成績は、売上高97,107百万円(前年同四半期比15.8%増)の増収、営業利益6,778百万円(同2.4%減)の減益、経常利益7,120百万円(同0.5%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益5,095百万円(同4.3%増)の増益となりました。

セグメント別の業績は次のとおりです。

① 物流事業

<EC・常温物流>

日用雑貨を中心とするEC・常温物流においては、「ECラストワンマイル当日お届けサービス」の拡大に加え、新規取引先に対する物流サービスの提供が業績に大きく寄与した結果、売上高は47,041百万円(前年同四半期比39.5%増)となりました。

<食品物流>

低温食品を中心とした食品物流においては、取引先である食品スーパーマーケットや生活協同組合等における取扱物量が堅調に推移したものの、前年の新型コロナウイルス感染症下の巣ごもり需要の反動が影響した結果、売上高は33,759百万円(前年同四半期比0.5%減)となりました。

<医薬・医療物流>

医薬・医療物流においては、主要取引先であるドラッグストアをはじめとする既存取引先にて、医薬品や化粧品をはじめとする主力商品の回復基調による物量の増加が業績に寄与した結果、売上高は15,593百万円(前年同四半期比0.3%増)となりました。

利益面では、営業強化による積極的な事業拡大と日次決算マネジメントによる生産性向上に努めたものの、燃料調達単価の上昇に加えて、将来の業容拡大に備え、労働力増強に向けた積極採用や輸送力の増強に取り組んだ結果、物流事業における売上高は96,394百万円(前年同四半期比15.9%増)、セグメント利益(営業利益)は6,559百万円(同2.5%減)の増収減益となりました。

② その他

文書保管事業においては、積極的な営業活動による既存取引先及び新規取引先とのBPO(ビジネスプロセス・アウトソーシング)に係る案件の受託に努めた結果、売上高は713百万円(前年同四半期比3.7%増)、セグメント利益(営業利益)は219百万円(同1.1%増)の増収増益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、79,531百万円となり、前連結会計年度末に比べ6,339百万円増加いたしました。流動資産は47,364百万円となり、7,360百万円増加いたしました。この主な要因は、現金及び預金が2,789百万円減少した一方で、受取手形及び売掛金が7,118百万円、有価証券が3,000百万円増加したことあります。また、固定資産は32,167百万円となり、1,020百万円減少いたしました。この主な要因は、投資有価証券が566百万円、建物及び構築物が316百万円減少したことあります。

負債につきましては、51,507百万円となり、前連結会計年度末に比べ4,024百万円増加いたしました。流動負債は24,167百万円となり、5,304百万円増加いたしました。この主な要因は、未払法人税等が929百万円、賞与引当金が827百万円減少した一方で、支払手形及び買掛金が5,486百万円、短期借入金が1,300百万円増加したことあります。また、固定負債は27,340百万円となり、1,280百万円減少いたしました。この主な要因は、長期借入金が1,042百万円、転換社債が164百万円減少したことあります。

純資産につきましては、28,023百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,314百万円増加いたしました。この主な要因は、その他有価証券評価差額金が424百万円減少した一方で、利益剰余金が2,702百万円増加したことあります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2021年11月1日に公表いたしました連結業績予想からの変更はありません。なお、新型コロナウイルス感染症拡大による影響は不確定要素が多く、今後業績において著しい影響が生じた場合には速やかに開示いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (2021年3月31日) | 当第3四半期連結会計期間 (2021年12月31日) |
|---------------|-------------------------|-------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 26,488 | 23,699 |
| 受取手形及び売掛金 | 12,339 | 19,457 |
| 有価証券 | — | 3,000 |
| 貯蔵品 | 51 | 86 |
| その他 | 1,126 | 1,123 |
| 貸倒引当金 | △1 | △2 |
| 流動資産合計 | 40,004 | 47,364 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物(純額) | 8,926 | 8,610 |
| 機械装置及び運搬具(純額) | 2,606 | 2,394 |
| 土地 | 6,582 | 6,670 |
| その他(純額) | 3,755 | 3,839 |
| 有形固定資産合計 | 21,871 | 21,515 |
| 無形固定資産 | | |
| のれん | 672 | 578 |
| その他 | 1,324 | 1,209 |
| 無形固定資産合計 | 1,997 | 1,788 |
| 投資その他の資産 | | |
| その他 | 9,366 | 8,901 |
| 貸倒引当金 | △47 | △37 |
| 投資その他の資産合計 | 9,319 | 8,864 |
| 固定資産合計 | 33,187 | 32,167 |
| 資産合計 | 73,191 | 79,531 |
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 7,856 | 13,343 |
| 短期借入金 | 100 | 1,400 |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 2,118 | 1,857 |
| 未払法人税等 | 1,693 | 763 |
| 賞与引当金 | 960 | 133 |
| 訴訟損失引当金 | 17 | 7 |
| その他 | 6,116 | 6,662 |
| 流動負債合計 | 18,862 | 24,167 |
| 固定負債 | | |
| 転換社債 | 21,026 | 20,861 |
| 長期借入金 | 3,882 | 2,839 |
| 退職給付に係る負債 | 878 | 921 |
| 資産除去債務 | 776 | 782 |
| 役員株式給付引当金 | 21 | 20 |
| 従業員株式給付引当金 | 25 | 24 |
| その他 | 2,009 | 1,890 |
| 固定負債合計 | 28,620 | 27,340 |
| 負債合計 | 47,483 | 51,507 |

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (2021年3月31日) | 当第3四半期連結会計期間 (2021年12月31日) |
|---------------|-------------------------|-------------------------------|
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 2,665 | 2,667 |
| 資本剰余金 | 2,341 | 2,343 |
| 利益剰余金 | 24,948 | 27,651 |
| 自己株式 | △5,758 | △5,758 |
| 株主資本合計 | 24,197 | 26,903 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 1,702 | 1,278 |
| 退職給付に係る調整累計額 | △191 | △158 |
| その他の包括利益累計額合計 | 1,511 | 1,120 |
| 純資産合計 | 25,708 | 28,023 |
| 負債純資産合計 | 73,191 | 79,531 |

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

| | 前第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日) | 当第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日) |
|------------------|--|--|
| 売上高 | 83,884 | 97,107 |
| 売上原価 | 73,180 | 86,291 |
| 売上総利益 | 10,704 | 10,815 |
| 販売費及び一般管理費 | 3,762 | 4,037 |
| 営業利益 | 6,942 | 6,778 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 19 | 165 |
| 受取配当金 | 87 | 92 |
| 投資有価証券売却益 | — | 2 |
| その他 | 111 | 107 |
| 営業外収益合計 | 217 | 367 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 15 | 10 |
| 社債発行費 | 45 | — |
| 貸倒引当金繰入額 | 3 | — |
| 固定資産除却損 | 3 | 10 |
| その他 | 6 | 5 |
| 営業外費用合計 | 74 | 26 |
| 経常利益 | 7,085 | 7,120 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 7,085 | 7,120 |
| 法人税等 | 2,202 | 2,025 |
| 四半期純利益 | 4,883 | 5,095 |
| 非支配株主に帰属する四半期純利益 | — | — |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益 | 4,883 | 5,095 |

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

| | 前第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日) | 当第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日) |
|-----------------|--|--|
| 四半期純利益 | 4,883 | 5,095 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 426 | △424 |
| 退職給付に係る調整額 | 29 | 33 |
| その他の包括利益合計 | 456 | △391 |
| 四半期包括利益 | 5,339 | 4,704 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 5,339 | 4,704 |
| 非支配株主に係る四半期包括利益 | — | — |

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することといたしました。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首より前に新たな会計方針を遡及適用した場合の累積的影響額を、第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に加減し、当該期首残高から新たな会計方針を適用しております。ただし、収益認識会計基準第86項に定める方法を適用し、第1四半期連結会計期間の期首より前までに従前の取扱いに従ってほとんどすべての収益の額を認識した契約に、新たな会計方針を遡及適用しておりません。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。また、利益剰余金の当期首残高に与える影響はありません。

さらに、「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号 2020年3月31日)第28-15項に定める経過的な取扱いに従って、前第3四半期連結累計期間に係る顧客との契約から生じる収益を分解した情報を記載しておりません。

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 2019年7月4日)第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することといたしました。これによる、四半期連結財務諸表への影響はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

| | 報告セグメント | その他 (注) 1 | 合計 | 調整額 (注) 2 | 四半期連結損益 計算書計上額 (注) 3 |
|-----------------------|---------|--------------|--------|--------------|----------------------------|
| | 物流事業 | | | | |
| 売上高 | | | | | |
| (1) 外部顧客への売上高 | 83,197 | 687 | 83,884 | — | 83,884 |
| (2) セグメント間の内部売上高又は振替高 | 131 | 285 | 417 | △417 | — |
| 計 | 83,329 | 973 | 84,302 | △417 | 83,884 |
| セグメント利益 | 6,725 | 216 | 6,942 | 0 | 6,942 |

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、文書保管庫の賃貸事業及び不動産賃貸事業を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

「物流事業」セグメントにおいて、前第2四半期連結会計期間に行われた日本物流開発株式会社との企業結合について、前第2四半期連結会計期間において暫定的な会計処理を行っておりましたが、前連結会計年度末に確定しております。この暫定的な会計処理の確定にともない、当第3四半期連結累計期間の四半期連結財務諸表に含まれる比較情報において取得原価の当初配分額に見直しが反映されております。当該見直しにより、暫定的に算出されたのれんの金額は562百万円から15百万円増加し、578百万円となりました。

当第3四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

| | 報告セグメント | その他 (注) | 合計 | 調整額 | 四半期連結損益 計算書計上額 |
|-----------------------|---------|------------|--------|------|-------------------|
| | 物流事業 | | | | |
| 売上高 | | | | | |
| 顧客との契約から生じる収益 | 95,790 | 320 | 96,110 | — | 96,110 |
| その他の収益 | 603 | 393 | 996 | — | 996 |
| (1) 外部顧客への売上高 | 96,394 | 713 | 97,107 | — | 97,107 |
| (2) セグメント間の内部売上高又は振替高 | 133 | 294 | 427 | △427 | — |
| 計 | 96,527 | 1,007 | 97,534 | △427 | 97,107 |
| セグメント利益 | 6,559 | 219 | 6,778 | — | 6,778 |

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、文書保管庫の賃貸事業及び不動産賃貸事業を含んでおります。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。